

令和3年度 国立研究開発法人

建築研究所講演会

建築研究所講演会は、年に一度（毎年3月）、建築研究所の研究開発成果や調査活動の報告を通して、住宅・建築・都市分野における最新の技術情報を広く一般の方々に提供するために開催しています。

令和4年 3月4日(金) 13:00 ▶ 17:40 (開場12:00予定)
有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11F)
東京都千代田区有楽町2-5-1

参加無料

要事前登録
座席指定制

※ライブ配信も予定

特別講演

大震災を乗り越え未来の夢を描く
温故知新と転禍為福で

プログラム

13:00	開会		
13:05	—	理事長挨拶	理事長 緑川 光正
13:10	講演 1	非住宅建築物における外皮性能による温熱環境を考慮した空調エネルギー評価に関する取り組み	環境研究グループ 主任研究員 赤嶺 嘉彦
13:35	講演 2	東日本大震災及び以降の災害における応急仮設住宅と災害公営住宅の特徴	住宅・都市研究グループ 上席研究員 米野 史健
14:00	講演 3	軽量鉄骨下地による非構造部材の耐震性等に関する建築研究所の最近の取り組み	建築生産研究グループ 研究員 沖 佑典
14:25	休憩	パネル展示	
14:40	講演 4	スラブ内地震、海溝型巨大地震とスロー地震	国際地震工学センター 主任研究員 北佐 枝子
15:05	講演 5	2016年熊本地震による益城町の木造住宅倒壊分布に関する地盤要因の可能性	構造研究グループ 上席研究員 新井 洋
15:30	講演 6	木造による10階建て復興住宅の構造試設計	材料研究グループ 上席研究員 槌本 敬大
15:55	講演 7	「新耐震基準」から40年を振り返る	構造研究グループ グループ長 小山 信
16:20	休憩	パネル展示	
16:40	特別講演	「温故知新と転禍為福で大震災を乗り越え未来の夢を描く」	名古屋大学減災連携研究センター教授 福和 伸夫
17:40	終了予定		



名古屋大学減災連携研究センター教授

福和 伸夫

1981年に清水建設に入社。1991年に名古屋大学に異動。工学部建築学科、先端技術共同研究センター、環境学研究科を経て、2012年より名古屋大学減災連携研究センター。2017年～2018年に日本地震工学会長、2017年よりあいち・なごや強靱化共創センター長、2020年より中部防災推進ネットワーク・会長等を歴任。専門分野は、地震工学。

産官学民の連携を図りつつ、災害被害軽減の国民運動作りに関わりと共に、南海トラフ地震対策を主導。

2003年日本建築学会賞、2007年文部科学大臣表彰科学技術賞、2019年防災功労者内閣総理大臣表彰受賞。

主な著書に「必ず来る震災で日本を終わらせないために」(時事通信社)など。



主催・問い合わせ先
国立研究開発法人 建築研究所 企画部企画調査課
TEL.029-879-0638
<https://www.kenken.go.jp>



申し込み期限：令和4年2月25日(金)17時
左記QRコードよりお申し込みください。
定員に達し次第、受付終了とさせていただきます。
予めご了承ください。



※ 講演会の詳細は、今後、ホームページで御案内します。

※ 入場定員制限や入場時検温など、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、会場開催を予定しておりますが、政府の方針等によっては急遽中止又はライブ配信のみとなる場合がございます。